



上の田の残りの苗を下に投げ夜なべに作りしお蔭の小屋
紫雲英田の花濃きところ決々と寝転び天へ叫びし記憶

四谷 小山志づ子

連谷お助け隊



四月一日(日)、連谷お助け隊は年次総会と地域環境整備を行いました。

午前中の環境整備は県道鳳来振草線松下地内の湧水ヶ所で地崩れが起因した倒木処理や、すでに道路に傾きかかり、倒れば電線切断や交通事故も招きかねない危険が想定される立木の伐採を地主の了解の上、行いました。

また、千枚田を訪れる方たちが千枚田入り口付近の道路脇における無秩序な駐車が目立ち、地元の生活道路の妨げや駐車トラブルを回避、秩序ある駐車ができるように、道路脇の白線引きなどを行いました。

午後は千枚田が一望できる「ふれあい広場」でこの一年を振り返って、また、新年度の活動計画など真剣に焼き肉を食べながら愉快地協議しました。

協議事項① 昨年好評であった「みんなで灯そう千枚田」について全隊員賛成をもって実施する事になりました。

○ 資金面について、昨年は千枚田のカレンダー売上金や田吾作主催の餅つき大会におけるバザーや篤志、寄付金などでなんとか賄えられたが、今年の資金捻出をどのようにするか。

○ 実施期日は六月二日(土)。

○ 観覧席も昨年度は千枚田入り口

の道路脇で行ったが、場所が狭いと交通事故等が懸念されることから、一段上の小山建築の広場を借りる手はずをとる。

総会の状況



○ ロータック灯す場所について、昨年は天王橋から下の景観道の両脇三メートル間隔に灯したが、今年は通称「おむすび岩」から下の水車小屋や景観道、田んぼの畦に立てれば、

よりいっそう幽玄な世界を醸し出せるから是非実行したい。
○ 畦道などを踏み荒らすことから耕作者の了解を得たほうがよい。
○ 駐車場は連谷小学校の校庭を借りる。

○ オカリナや古弓を奏でたらすばらしい演出になる。などの意見が百出され、楽しい企画がなされました。
協議事項② 昨年はエコラリーのチエックポイントで選手に棚田米のおにぎりや湯茶の接待などで好評を得たが、今年も短距離ラリーの協力要請があり、県道や生活道路を短期封鎖するため、地域全体に図り、前向きに検討したい。

「お助け隊」とは・・・この組織は、連谷サミットお助け隊という名称で第十一回全国棚田サミット開催における「サミットサポート隊」として平成十六年七月三日に発足、サミットにおける活躍は全国棚田関係者においても語り草になるほどでした。「黒子」に徹したお助け隊は任を果たして終わりではなく、今後も「連谷お助け隊」と名を改めて地域貢献を誓い、その後も数々の「お助け」を行っています。

三河の山里ツーリズム

主催：三河の山里活性化事業実行委員会（愛知県、岡崎市、豊田市、新城市、設楽町、東栄町、豊根村、中日新聞社）により、四谷の千枚田で「千枚田で米づくり」を開催します。ツアー内容は田植え、田の草取り、稲刈りのすべての農作業に参加できる方に限ります。

田植えは五月十二日（土）、田の草取り七月七日（土）、稲刈り九月八日（土）が計画され、小山舜二（ふるさと水と土指導員・自然体験活動リーダー）の指導により行われます。

社員研修

四月四日、（株）横浜ゴム新城工場の新入社員二十四名が四谷の千枚田で「文化的遺産、四谷の千枚田はどのようにして守られてきたか」その変遷や自然、伝承文化等を学びながらふれあい広場の掃除や草取りなどのボランティアを通じた研修が行われました。

作業中、春爛漫のお日よりが一転みぞれが降り、九州からの新人社員は「愛知でも雪が降るのか・・・」と

びっくりしていました。

皆さんの労働奉仕のおかげでふれあい広場の四阿やベンチ周辺も見違えるほどきれいになりました。有り難うございました。（舜）



横浜ゴム 新入社員の皆さん

長篠合戦とタニシ

天正三年五月、長篠城主奥平貞昌（二十一才）は武田勝頼の率いる一万七千の攻囲を受けて、手兵五百とともに籠城し、沢のセリやタニシで飢えをしのぎ戦い続け、徳川、織田連合軍が馳せ参じ、落城は免れた。人間、偉くなると過去の苦しみを忘れ、有頂天になるものであるが、貞昌は、大分県の中津城の城主になっても飢えから助けてもらったタニシの恩を忘れることなく、感謝の意

から神殿に奉るようになりました。長篠合戦「のぼりまつり」（五月五日）でも毎年、四谷の千枚田のタニシが奉納されています。



四谷の千枚田見頃楽しみ頃

ゴールデンウィークの四月末から代掻きが始まり、五月半ば頃には田植えもほぼ終盤を迎えます。五月中旬頃にはふれあい広場から見下ろす棚田の眺望は「千枚の水鏡」の如き素晴らしいものです。

（お問い合わせ 0536-35-0747（舜）



げんげな噛

与良木の坂んどこにやあ「虫歯の神様」ちゅうもんが祀つたるのおをあんた、知つとるかんやあ・・・ふん、わしやあ歯が弱いむんで、よお世話になったむんだえん、歯が痛いときなんかやあ、頼みに行つたむんだわいのん・・・そいで、治つただかん・・・ふうん、虫歯の神様を詣つて治つただか、ちようど痛いのが治まる時に詣りに行つただかどうだったか忘れちゃつたが、今あ、歯あも抜けちやつたもんで痛くもへつたくれもないだえん・・・そいじゃあ、ちつたあ効くずらあかのん・・・



桜開花予想ミスで気象庁長官が謝罪
気象庁の平木哲長官は十五日の定例記者会見で東京、静岡、高松、松山の四地点で計算ミスにより桜が「記録的早咲き」と間違つた予想を出したことについて「誤つた情報で大変ご迷惑をお掛けした」と陳謝した。たより四十三号で最近の異常気象から「桜も早咲き」の報を鵜呑みにして記載してしまつた。天気予報のはずれは陳謝しないが、桜開花予想のはずれは気象庁長官自らが謝罪した。やはり、桜は日本人の心かなあ

行 平成十九年四月十五日
鞍掛山麓千枚田保存会
発 文 責 小山舜二